



指導員訪問⑤ 6年 保健体育科「ボール運動」(ネット型) 松山 衣里 教諭



体育の授業で協力する、挑戦することに楽しさを感じ、意欲的に取り組む松山学級の子供たち。しかし、新しいことを生み出したり、自信のなさから考えを相手に伝えたりすることに多くの子が抵抗を。そこで、本単元「ソフトバレーボール」(ネット型)を取り入れました。

ゴール型と違い、自分たちで考えた作戦を仲間と協力して試すことで得点につながる喜びや楽しさが味わえることから、技能に加え、伝え合う力を伸ばすことができると考えました。本時では、考えた作戦を状況に合わせて選び、課題や解決方法を他者に伝える姿があったかどうかです。

初めに本時のゲームのルール変更部分を確認。各班に分かれ、試したいこと、気付いたこと



を各班でホワイトボードでまとめ、兄弟チームで練習をしました。そして、異なる兄弟チームとのゲームへ。途中で兄弟内で4分間の分析タイムを設定。iPadの記録動画から分析するなど互いに課題や作戦への助言。さらに後半のゲームに取り組みました。

協議会では、分析タイムの有効性、タブレット撮影の資料のよさ、話し合いや全員プレーの意識の大切さなどを意見交換。中には、オブザボールやスペースへの視点の弱さの指摘も。指導員から

体育科の「する」「見る」「支える」「知る」の大切さ、プレーや話し合いの視点を与えること、運動時間の確保、ほめることやスペースの



視点を取り上げ全体へ一度広げる必要性などを教えていただきました。

私は②班で、④班からも指摘を受けたC



6に注目。試合相手は高身長がそろった強敵⑥班です。何と、作戦タ

<②班 授業記録より一部抜粋、編集>

★課題 動きのパターンABCを決める。

(練習後に兄弟チームでアドバイス)
 T1: 兄弟チームが助けてくれるね、アドバイスすると。自分たちで、兄弟チームでもいいのでアドバイスを。

C2 (④へ): ジャッジができてない。あとキャッチ。こっちの方がいい。

C3: ドッジボールみたい?

C4 (②へ): みんなが触れるように。

C5: C6も触らんと!

C7: トスがちょっと高すぎる。後ろなのかな。打ちにくそうだった。

★作戦 みんなが打てるように。サブ、アタックはC6と交代で。

(ゲーム途中の兄弟で分析タイム)

C8 (④より): 2-2の間が...ちょっとだけ後ろへ行こうか?

C9: C10全部前に行く? C10: いいよ
 C11: 私(C9)は真ん中。C6とC12で後ろに行って。

C13 (④より): C14(相手)のボールがポンってくるから

C15: よく真ん中へんに来るから。

イムで兄弟④班C8・13・15とスペースの指摘からパターンを変更。後半、C6が長く返したボールがブロックを超え相手の後方へ。C9と笑顔でハイタッチ。この変容こそ全体に広げたいです。

